

社会保険労務士からの三方一両得だより

令和5年7月20日 第166号

ビルマ汁を食べてきました

益子出身のタレント井上咲楽さんが益子名物として紹介していた、ビルマ汁を食べに行ってきました。戦争中にビルマ戦線に行った飯塚さんという方が、現地で食べた味を再現して段々と近所に広まっていったという、宇都宮餃子のルーツと少し似ているところがあるものです。

実は今年の春先に道の駅益子で食べられるお店を聞いたところ、夏限定とのことで当時はどこでも食べるできませんでした。今回は下調べを念入りにして、取扱のある13店のうち、



オーソドックスなものが食べられそうな雰囲気「とんかつ ちとせ」を訪れました。

日曜日の開店直後に到着しましたら、すでに店内は8割程の客入りで人気店のようです。とんかつの定食についているみそ汁を、追加料金でビルマ汁に変更しました。他のテーブルでもチラホラ注文が入っていました。

バイクや自転車が沢山とまっています。

定食と共に、いよいよビルマ汁が到着。良いとか悪いとかでは無く、味も食感も見たまんまでした。夏野菜がたっぷり入った、カレー味のスープ。もちろん普通においしいです。

わざわざまたこれの為だけに益子に行くことはないでしょうが、話のネタとしても、何か機会がありましたら食べてみることをお勧めします。



これが念願のビルマ汁です。



もう少しで収穫します。

今年の夏野菜は順調です。エダマメ、モロツコいんげん、オクラ、きゅうり、トマトを、毎日のように大量に収穫しています。中でも初めての大成功だったのがトウモロコシです。以前は、害虫にぼこぼこにやられてしまい一切食べられなかった年もありました。今年は防虫ネットで小屋を作り、その中で栽培しました。それでも2割程は虫にやられました。が、毎朝新鮮なトウモロコシを食べられるのは、何とも幸せです。

我が家の畑

精神障害に関する労災補償状況

厚生労働省が公表した令和4年度「過労死等の労災補償状況」によれば、仕事による強いストレスが原因で発病した精神障害の状況について、労災請求件数は 2,683 件で前年度比 337 件の増加、支給決定件数(労働基準監督署が労災だと認めたもの)は 710 件で前年度比 81 件の増加となりました。いずれも統計開始以来、**過去最多**です。

業種別では、医療・福祉(請求 624 件、支給決定 164 件)が最多となっており、次いで製造業(請求 392 件、支給決定 104 件)、卸売業・小売業(請求 383 件、支給決定 100 件)が続いています。

年齢別では、請求件数、支給決定件数いずれも 40～49 歳が最多となっています。



支給決定件数の出来事の類型別では「パワーハラスメント」が 147 件で最多となっています。その他、「同僚等から、暴行又は(ひどい)いじめ・嫌がらせを受けた」や「セクシュアルハラスメント」などハラスメント関連の類型に

るものが目立ち、ハラスメントに関する問題は影響が大きいことがわかります。

シニアを採用したい理由、したくない理由

マイナビが行った調査で、シニア採用をしている、または採用意向があると回答した人の「シニアを採用したい理由」としては、「人手不足の解消・改善に繋がるから」(51.2%)、「専門性が高い・経験が豊富」(37.1%)、「これまで採用したシニアが優秀だったから」(25.4%)といった回答が上位に挙がっています。

一方、シニアを採用したくない理由として、「体力や健康面に不安がある」(53.7%)という回答もあります。

これらを踏まえて既存の業務の見直しなどを行い、シニア採用を実施すれば、シニアのみならず今後の多用な人材の採用活動や、いったん退職した人の再雇用などの場面にも良い影響を与えるでしょう。

人手が不足している企業では、シニアの採用が今後いっそう検討すべき課題となります。一方で、今いる中堅社員の介護離職を防止する、「多様な働き方」に対応して自社の魅力アップにつなげるなどの取組みも重要となってきます。